

## 人工芝化をストップした中野区の取り組み経過

むとう有子（中野区議会議員・無所属・7期目）

- ・2014年 「小中学校施設整備計画」策定
- ・2017年 一部改正→上履きを廃止して一足制とし、校庭は人工芝と明記  
(敷地面積が狭いため、昇降口不要が理由)  
↓  
新築校舎は「一足制と人工芝」がセットで進む
- ・現在 小学校 20校中 6校が人工芝、2校が人工芝で改築中  
中学校 9校中 3校が人工芝、1校が人工芝で改築中

- ・中野区議会議員構成⇒42人（現在41人）
  - 与党的政党（19人） 立憲・国民・ネット他⇒11人
  - 共産党⇒5人
  - 都民ファースト⇒3人
  - 野党的政党（16人） 自民党⇒8人
  - 公明党⇒8人（現在は7人）
  - 無所属⇒7人（れいわ1人・維新1人含む）

- ・桃園第二小学校改築推進委員会（2022年12月～2025年6月・8回）
  - ⇒改築推進委員会は①どちらでもよい3人、②人工芝5人、③土壌7人
  - ⇒人工芝由来のマイクロプラスチックがおよぼす人体への影響が主議論
- ・陳情第8号 2024年8月30日受理→10月21日（賛成24・反対16）採択
  - 賛成→自民・公明・都ファ・れいわ含む無所属6人
  - 反対→立憲・国民・ネット他・共産・維新
  - ⇒2025年5月、設計図に昇降口の面積が追加
  - ⇒2025年9月、校庭の仕様は土壌に決定

- ・北原小学校改築推進委員会（2024年4月～2025年7月・5回）
  - ⇒改築推進委員会は全員一致で土壌
  - ⇒人工芝校庭での火気や飲食禁止など地域イベントの制約が主議論
- ・請願第1号 2024年8月30日受理→10月21日全会一致で採択
  - ⇒2025年3月、校庭の仕様は土壌に決定

- ・中野区消費者団体連絡会
- ・陳情第33号 2025年5月23日受理→6月19日賛成少数で不採択
  - 1項⇒賛成→無所属2人  
退席→れいわ
  - 2項⇒賛成→共産5人・無所属4人  
退席→れいわ

#### \*まとめ

桃園第二小学校改築推進委員会は、委員長が人工芝を推進する考え方のもとで、意見が分かれていました。

風あたりが強い中、あきらめず粘り強く、「人工芝由来のマイクロプラスチックがおよぼす人体への影響」について熱心に勉強し、生徒と保護者に自主的にアンケートを取ったり、委員会に資料を提出したり、議会に陳情したりと、行動する保護者の方が委員会のメンバーにいらしたことが、人工芝化を防ぐ大きな力となり、成果となりました。

また、議会に陳情書を提出してくださったことで、議会でも議論の俎上にあがり、区民と議員が協力し、陳情・請願を採択したこと、教育委員会の姿勢を動かすことにつながったと考えます。

残念ながら、教育長は、「人工芝について、国から健康への悪影響は科学的に示されていないため、問題ないと考える。」と答弁しています。

よって、教育委員会は、新築校舎は「一足制と人工芝」という方針は変更ていませんが、PTAや地域の方々で構成する学校改築推進委員会の検討結果を尊重したことは、評価できます。

♥あきらめずに、子どもたちの健やかな成長を願い、熱心に行動した区民の方の大勝利です！